

製品名: GSTT1/4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11837**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	GSTT1/GSTT4
別名	GSTT1; Glutathione S-transferase theta-1; GST class-theta-1; Glutathione transferase T1-1; GSTT4; Glutathione S-transferase theta-4; GST class-theta-4
遺伝子 ID	2952.0
SwissProt ID	P30711/A8MPT4
免疫原	抗血清はヒト GSTT1/4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

背景

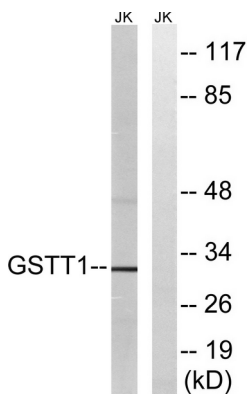
この遺伝子によってコードされるタンパク質、グルタチオン S-トランスフェラーゼ (GST) シータ 1 (GSTT1) は、還元型グルタチ

オンと様々な求電子性および疎水性化合物との抱合を触媒するタンパク質スーパーファミリーの一員です。ヒト GST は、 α 、 μ 、 π 、 θ 、 ζ の 5 つの主要なクラスに分類されます。 θ クラスには、GSTT1、GSTT2、および GSTT2B が含まれます。GSTT1 と GSTT2/GSTT2B はアミノ酸配列が 55% 同一であり、ヒトの発がんに関与している可能性があります。GSTT1 遺伝子はハプロタイプ特異的であり、人口の 38% で欠失しています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2015 年 9 月]、触媒活性: $RX + \text{グルタチオン} = \text{HX} + \text{R-S-グルタチオン}$ 。機能: 還元型グルタチオンを、様々な外因性および内因性の疎水性求電子剤に抱合する。1,2-エポキシ-3-(4-ニトロフェノキシ)プロパン、フェネチルイソチオシアネート、4-ニトロベンジルクロリド、および 4-ニトロフェネチルプロミドに作用する。クメンヒドロペルオキシドと反応してグルタチオンペルオキシダーゼ活性を示す。、オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース、多型: GSTT1 遺伝子は人口の 38% に欠損している。GSTT1 遺伝子の有無は、それぞれ抱合型 (GSST1+) および非抱合型 (GSTT1-) の表現型と一致する。GSTT1+ 表現型は、ジクロロメタンのグルタチオン抱合を触媒することができる。、類似性: GST スーパーファミリーに属する。シータファミリー。、類似性: GST C 末端ドメインを 1 つ含む。、類似性: GST N 末端ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: ホモ二量体。、組織特異性: 赤血球に存在。肝臓では低レベルで発現。肺では、クララ細胞および肺胞/細気管支接合部の繊毛細胞で低レベルで発現。大細気管支の上皮細胞には存在しない。、

研究分野

グルタチオン代謝;シトクロム P450 による異物代謝;薬物代謝;

画像データ



GSTT1/4 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GSTT1/4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析